

いつもありがとう

原 はら
菜由香 なゆか

「パパ、いつもありがとう」

と、わたしはパパにいいたいけれど、パパはいつもいそがしい。

朝は、すごく早おきで、会社へ行つて社長さんをする。時どき早くかえつてきても、となりのおばあちゃんによばれて、パパはこどもになって、

「はい、お母さん」

と、へんじをしてご用をする。休みの日は、朝から、カッター大会のれんしゅうで、ボートをこぐ仲間たちと出かける。弟のけん道のれんしゅうについて行くと、会長さんになって、会ぎに出る。そして、時どきママにコーヒーを入れてあげて、やさしい、夫になる。

わたしのしっているパパは、いそがしくても、すごくやさしい。おこるところわいけど、めったにおこったりしない。わたしは、パパが大すきだ。

だから、ありがとうの気もちをこめてパパのコーヒーを入

れるかかりになった。これはママとわたしの大作せん。パパが休みの日の朝ごはんの時、あたたかいコーヒーを入れたら、きつとパパは、うれしそうなおおをするにちがいない。

「コーヒー入れようか。」

ママが言ったので、チャンス！と思つたわたしは、ママのよこにこつそりちかづいた。

でも、すぐにパパが、

「アイスコーヒーね。」

と言つたのでガツカリ。アイスコーヒーはまだれんしゅうしてないのだ。そういえば今は夏。やつぱりあつい時は、つめたいものをのみたくなるよね、と思つたら早く秋になーれと心の中でさげんだ。ママの入れたアイスコーヒーは、ガラスの串で白と黒が二つにわかれてきれいだつた。少しむずかしそうだけど、これもれんしゅうして、パパいつもありがとうのコーヒーを入れてあげたいなおもう。